

ゆあほうむ*通信 初秋号



編集・発行 社会福祉法人 豊生会 ゆあほうむ榛原広報委員会 H18.8.28 発行
 奈良県宇陀市榛原区長峯200-1 TEL0745-82-8111

夏祭り

平成十八年七月二十九日、
 【第十一回ゆあほうむ榛原夏祭り】が行われました。今年のテーマは「アジアン」！天候にも恵まれ、皆様、夏祭りが始まるのを今か今かと待っておられました。



ニッコリ笑顔の山岡さん

「どん・どん・どん」
 と太鼓の音が会場全体に鳴り響き、琉球国祭りの太鼓の演奏で、一気に会場が祭りムードに染まり夏祭りが始まりました。



琉球舞踊

演奏後、今年もあります職員の出し物。新入職員達による若さあふれるチアリーダーダンスと、男性職員八人による会場全体に響き渡るきれいな歌声で、大いに夏祭りは盛り上がりを見せました。

毎年恒例の天馬鈴若社中の皆様による生演奏の中、ご利用者様と八千代会の皆様との華麗な盆踊りが行なわれました。
 今年初登場！ヨーロッパ中を揺るがした《ミスターハム》

によるジャグリングショーに目を奪われ、笑いと感動の渦に巻き込まれ、夏祭りは最高潮に達しました。



仲良し三好さん(^v^)

最後の出し物は「ヒュッスッ ドーン」と三百発の花火が打ち上げられ皆様の歓声・盛大な拍手につつまれました。

楽しい時間はすぐに過ぎてしまいました。帰り道にキャンドルを並べ、温かい灯し火に自然と笑顔がこぼれ、夏祭りは幕をとじました。



花火

八月九日、十九時よりゆあ
ほつむ榛原玄関前で花火を行
いました。

職員が準備をしていると、
ご利用者様は

「花火いつ始まるの?」
と花火をとても楽しみにして
おられました。



待ちに待った花火の時間。
職員が花火を並べている姿を



みて「どんな花火やろ」「楽し
みやわ」と集まって来られ

「シューッ シャッッ

と、噴射花火が上がると

「わあ〜きれいやなあ」

「すごい」等、花火に感激
しておられました。



その後、手持ち花火を持っ

て頂き、夏の暗闇の中で花火
と一緒に楽しみ、花火の明か
りとみんなの笑い声でつま
れていました。

夏の思い出がまた一つ増え
ました。



人間大好き

今回は、新館クレーシーに

お住まいの吉尾喜久枝様をご
紹介したいと思います。

Q 趣味は何ですか?

「書道と編み物ですかね。今
は花瓶敷きを作っています。」
Q 今までどんな物を作られた
ことがあるんですか?

「セーターやベストとか自分
の着る服は全部編んでいます
たよ。」

吉尾様は、一日の大半、編
み物などをして過ごしておら
れます。

ご本人様は

「もつこれは趣味じゃなくて
私の仕事ですね」

と嬉しそうに話しておられま
した。

「何か編んでほしい物があれ

ば名前を書いて注文しておい
てくださいね。」

とまるでクレーシーに洋服屋
さんが出来たみたいで、吉尾
様の丁寧で細やかな作品には、
職員一同大変驚いています。

吉尾喜久枝様



Q最後に一言お願いします。

「創立祭までには、いろんな
ものが仕上がっていると思い
ますから楽しみに待っててく
ださいね」

職員一同楽しみにしています
ね。



職員に注目!

クレアーレ職員中店明美さんの作品を紹介します。元々裁縫の先生で、ご利用者様のために、自分で発案して、製作してくれています。



アームカバー

剥離はくりが多い方に使用していただいています。一つのトレーナーで両腕部分と前後ろを使ってアームカバーが4つ作れます。こたつのアームカバーはトレーナーの前部分を使って作りました。

柵に当たって、剥離や内出血を防ぐためにご使用いただいています。キルティングの布と普通の布をダブルにして、厚みを出して、柵カバーを作っています。実際こちらのベッドをお使いの方は内出血が減っています。



折り曲げても使えるようにゆとりをもたしています。

柵カバー

こたつの敷布団で作りました。ハサミの切断部分がほつれてこないようにバイアスでくるんでいます。



ホームヘルパー

サービス向上委員会

皆様、ご存知の様にホームヘルプサービスは「個別性のかたまり」と言ってもいい程オーダーメイドのサービスです。「ご利用者様の為の介護サービス」というかけ声を具体化する為にもホームヘルパーの良くない所やケアの気になる所、すなわち「ご利用者様の声」に誠実に応え修正を積み重ねていく努力をしていきたいと思っておりますので、**“声”**を聞かせて下さい。よろしくお願い致します。

夏の厳しい暑さのため、体調を崩されていませんか？

今回は毎日少しでも、おい

しく食事をして頂く為に口腔

ケアの大切さを紹介させて頂きたいと思えます。

口腔ケアは食欲を高め

生きる意欲も高める！

★食べる事は喜び

□の中いっぱいにご飯の香りが広がる事の幸せ、食べる事の喜びが込み上げる。

★食べれば意欲ももりもり

「おいしかった」「お腹いっぱい食べた」という満足感が得られれば身体も元気になり、気持ちも明るくなり、何かにチャレンジしようとする積極性もわいてきます。

★閉じこもりへとまっしぐら

食べたくない、食べるのが苦痛という状況が続けば身体はエネルギー不足で気力、体力が低下し、脳の機能も加速度的に低下します。

そこで口腔ケアの見直し

必要な症状チェックリストをあげさせて頂きます。

☆口臭が強い

☆歯肉からよく出血する

☆歯がぐらぐらして抜ける

☆入れ歯が外れやすい

☆食べ物、飲み物でむせる

☆食が細くなり食べられない

☆濃い味を好む様になった

☆よく熱を出す様になった

☆風邪をひきやすくなった

☆言葉が出にくくなった

☆表情が乏しくなった

☆認知症状が見られる

☆糖尿病がある

☆麻痺等運動障害がある

いかがでしたか？少しでも該当される方は、心にとめて頂き、予防に努めおいしく食事をして頂ければ幸いです。

簡単で食がすすむ レシピ

柔らかい絹ごし豆腐とろみ加
わること、嚥下力の弱い方も
召し上がられます。

とろーり空世蒸し

作り方

1. 卵を1個溶き、塩(小さじ 1/4)とだし汁(100CC)を合わせてよく混ぜる。
2. 2つの器に絹ごし豆腐(1/4丁)を半分ずつ分けて入れ、1を静かに流し入れる。
3. 鍋に器が浮かび上がらない程度の量の水を注いで沸かし、ラップをした2を入れる。
4. 3の鍋にフタをして中火で4分間加熱し、火をとめてそのままさらに10分間蒸らす。
5. 銀あん(だし汁 100CC、塩小さじ 1/4、しょうゆ適宜、片栗粉小さじ 1/2)を別の鍋に入れて火にかける。混ぜるうちに透明になってろみがついたら、火をとめる。
6. 蒸しあがった4に5をかけ、おろしわさび少々をのせる。



ケアハウス

散髪の日

ケアハウスのご利用者様が、特養のご利用者様と一緒に移動散髪車を利用しはじめて六ヶ月が経ちました。

毎月の散髪の日には約十名の希望者がおられます。ほとんどの方が、カットをしてもありますが、なかには、パーマや毛染めを希望される方もあり、皆、それぞれの思いで、おしゃれに気を配っておられるようです。美容師さんの早い手捌きでご利用者様も美しくなったご自分に満足しておられるようです。

「施設の中でしていただけるので出掛ける手間が省けて

助かるわ。」

「親切に移動の手助けや理髪台の座り心地まで尋ねていただいて嬉しいよ。」

などのご感想を頂いています。終わると、見た目だけでなく、会話の楽しい美容師さんたちとお話されることが、気分転換にもなり、スッキリされるようです。

皆さん、身だしなみに気を付けておしゃれになると心もおしゃれになりますね。



デイサービス

八月よりデイサービスでは、色々なクラブ活動を立ち上げ、ご利用者様に参加して頂いております。今回はその内容と様子をご紹介させて頂きます。

☆文芸クラブ

今回は絵手紙作り。「孫にこの葉書で残暑見舞いを送ったら、ありがとうってすぐ返事きたよ!」と嬉しそうに話してくださるご利用者様も。



文芸クラブ



書道クラブ

クラブ。「ほんまに何十年ぶりやろ、ええもんやねえ」と楽しんでおられました。また、ボランティアの皆様にご協力を頂き『手芸クラブ』が、「昔はよく見にいってん」との声をヒントに、『宝塚倶楽部』がスタート。ご好評を頂いております。



手芸クラブ

☆書道クラブ

「堅苦しさは抜きにして、気軽に筆を執ってみませんか」との呼びかけで始まったこの



宝塚倶楽部

あしがひろくせつおあー!

八月二十一日に特定非営利
活動法人NPO・SSS（代
表 今中 功様）様よりピッ
クアップウォーカー（四脚固
定型歩行器）を4台ご寄贈頂
きました。

ピックアップウォーカーは、
杖を使う時より体重を多くか
ける事ができ、歩行が不安定
な方でも安定して歩く事がで
きる歩行器の事です。

頂いたピックアップウォー
カーは理学療法士の指導の下、
ご利用様の毎日の歩行訓練
に使わせて頂いております。



ホームページへアクセス!

www.e-yourhome.com

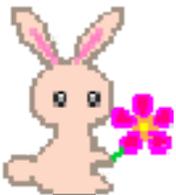
ゆあほうむ榛原のホームページが出来ました!

3つの双葉

このシンボルマークは、豊
生会のシンボルマークです。
"ゆあほうむ榛原"の施設名
の前に、いつも付いています。
これは私たちが常に求めて
いる「**生きる**、**飲む**と**希望**」の
もとになる生命の息吹を感じ
させる「**森**」をイメージして
デザインされています。

大地から芽吹く3つの双葉
は「生命」「安心」「未来」を
表しています。

それぞれの双葉は「医療・
福祉」と社会の求められるベ
き姿がバランスよく成り立っ
ていく様子を表現し、私たち
の仕事がそういった社会をつ
くっていくゆるみつにという願
いが込められています。



『短歌』

清々し 冷気の中で
山鳩の 声聞きながら
朝の体操

音楽の 夢の世界に
遊ぶわれ 電話のベルで

現^{うつ}に覚める

月二度の 買物ツアー
楽しみに 友たらはみな

いそいそ集^{つど}う

内藤妙子様作

『八月の遠音』

文明の 地獄なりけり
原爆忌

終戦日 涙を飲んで

安堵せり

盆おどり 英語も交ざる

大きな輪

四日須美子様作

『ゆあほうむ俳壇』

今回は職員も俳句に参加さ
せていただきました。

夕焼けに 染められしごと
赤とんぼ

風吹けば ほのかに香る
野菊かな

君に向う 一点赤き

頬の理由^{わけ}

まるこ作

ほほなでる こころよい風

秋近し

優作

送り火の ケイタイ画面
ものさびし

汗ぬぐう ふとかざす手に

秋の風

野分作

涙する 勝つても負けても

高校球児

やり、まっせ作

うちの犬 散歩の声に

笑い顔

編集委員作

選者吟

片山多迦夫様作

人恋へば 初ひぐらしの

声幽^{かすか}か

平成18年度 第1回 介護予防教室

認知症を考える

認知症は、脳の一部が障害された為に現れる症状です。

特に記憶能力に及ぼす影響が大きいため、ご本人は常に不安な気持ちで生活しておられます。

今回は、ゆあほうむ榛原の理事長 医師 森下 豊 と共に認知症について学び、考える機会を設けました。

お忙しいとは存じますが、皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

講師: 社会福祉法人・医療法人 豊生会

理事長 医師 森下 豊

日時: 平成18年9月10日(日)

受付: 午後1時より

開始: 午後1時30分より

終了予定: 午後3時頃

場所: ゆあほうむ榛原 クレアーレ(新館)1階

地域交流スペース

主催: 社会福祉法人 豊生会 ゆあほうむ榛原

[問い合わせ: 82-8111]